

2026年度 総合型選抜 法学部 解答又は解答例及び出題意図

科目名	筆記試験による文章読解力・表現力審査
解答又は解答例 及び出題意図	
<p>〔解答又は解答例〕</p> <p>ほとんどの問いが記述式で、解答は一義的に決まるわけではないため、公表しない。</p> <p>〔出題意図〕</p> <p>成城大学法学部総合型選抜1次試験の出題意図は、法学・政治学についての論理的かつ主張のある文章を正確に読み、理解したうえで、その内容や関連する事柄について文章で的確に表現する力があるかを問うことである。</p> <p>本年度は、米国における第2次トランプ政権の誕生や欧米における移民難民に対する排斥運動など、ナショナリズムに注目が集まる政治状況の中で、政治の左右とナショナリズムの関係性を論理的に考察する文章の理解力、および、その理解に基づく自己の見解を展開する能力を審査した。</p> <p>出典は、中井遼『ナショナリズムと政治意識：「右」「左」の思い込みを解く』（光文社、2024年）、第1章「混乱する政治の左右とナショナリズム」である。問題文は一部改変している。</p>	